

医療施設における屋外緑化空間の果たす役割に関する研究



資料提供：E-design

緑地計画学 柳内 真衣

研究の背景及び目的

◆研究背景

現在、医療施設において屋外緑化空間の重要性が認識されつつあるが、その担う役割が明確になっていない医療施設は少なくない

◆研究目的

医療施設における屋外緑化空間の利用特性や評価を把握することによって、屋外緑化空間の果たす役割を探る

◆論文の構成

第1章 研究背景及び目的

第2章 医療施設における屋外緑化空間の空間特性

第3章 医療施設における屋外緑化空間の効果と利用特性及び評価

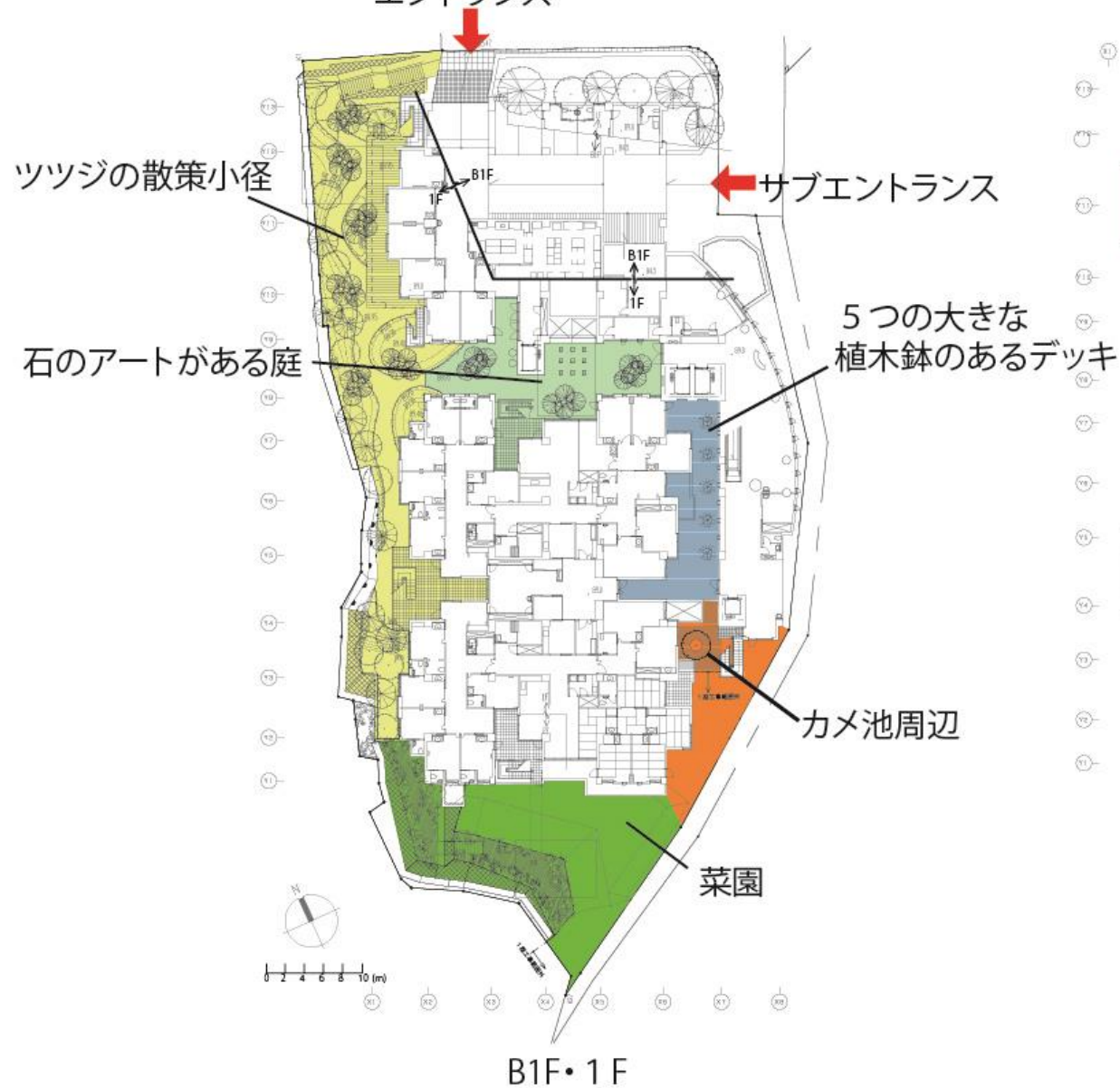
第4章 医療の立場から見た屋外緑化空間の果たす役割と今後の方向性

◆千里リハビリテーション病院 概要

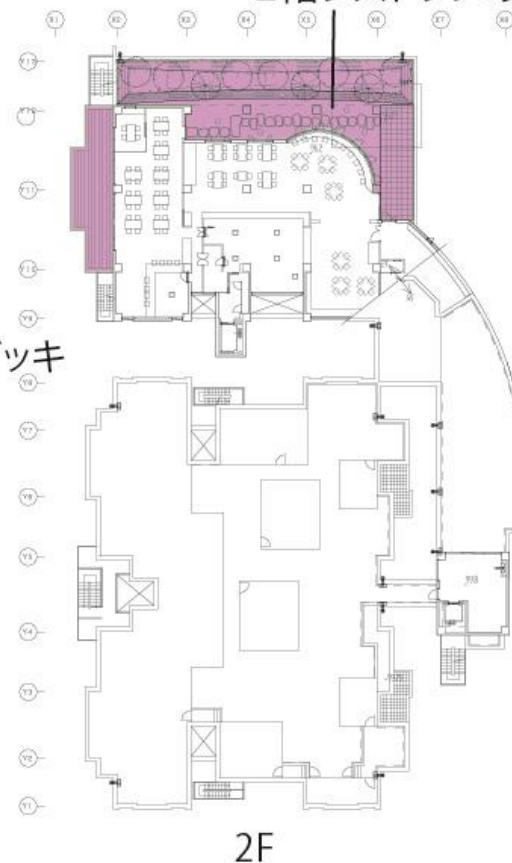
病院概要	開設者	医療法人社団和風会
	開設年月日	平成19年10月8日
医療概要	標榜科目	内科・リハビリテーション科
	病床数	一般病棟14床 回復期リハビリテーション病棟158床、計172床
敷地・建築概要	敷地面積	約3,700m ²
	延床面積	約7,300m ²

院内における屋外緑化空間の位置図

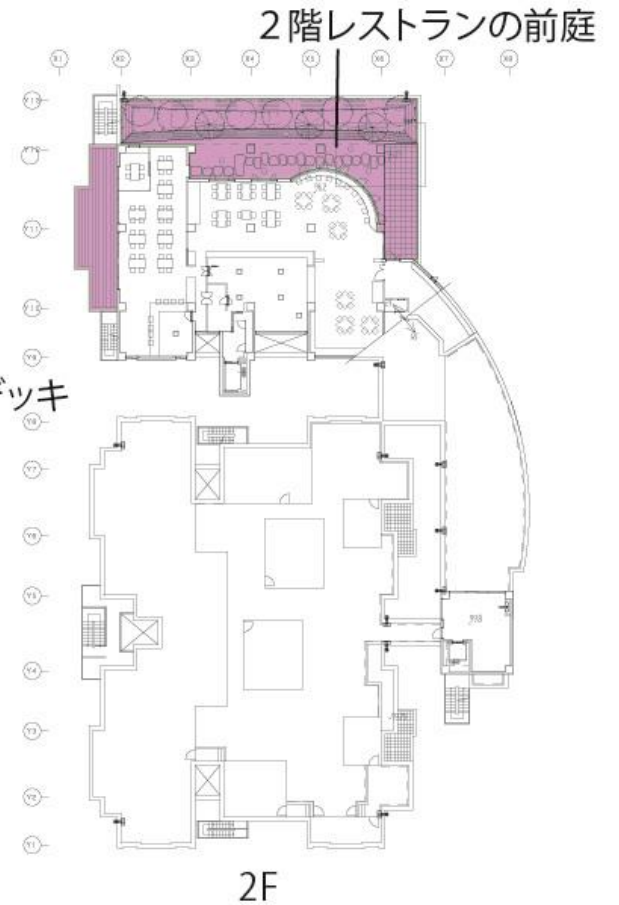
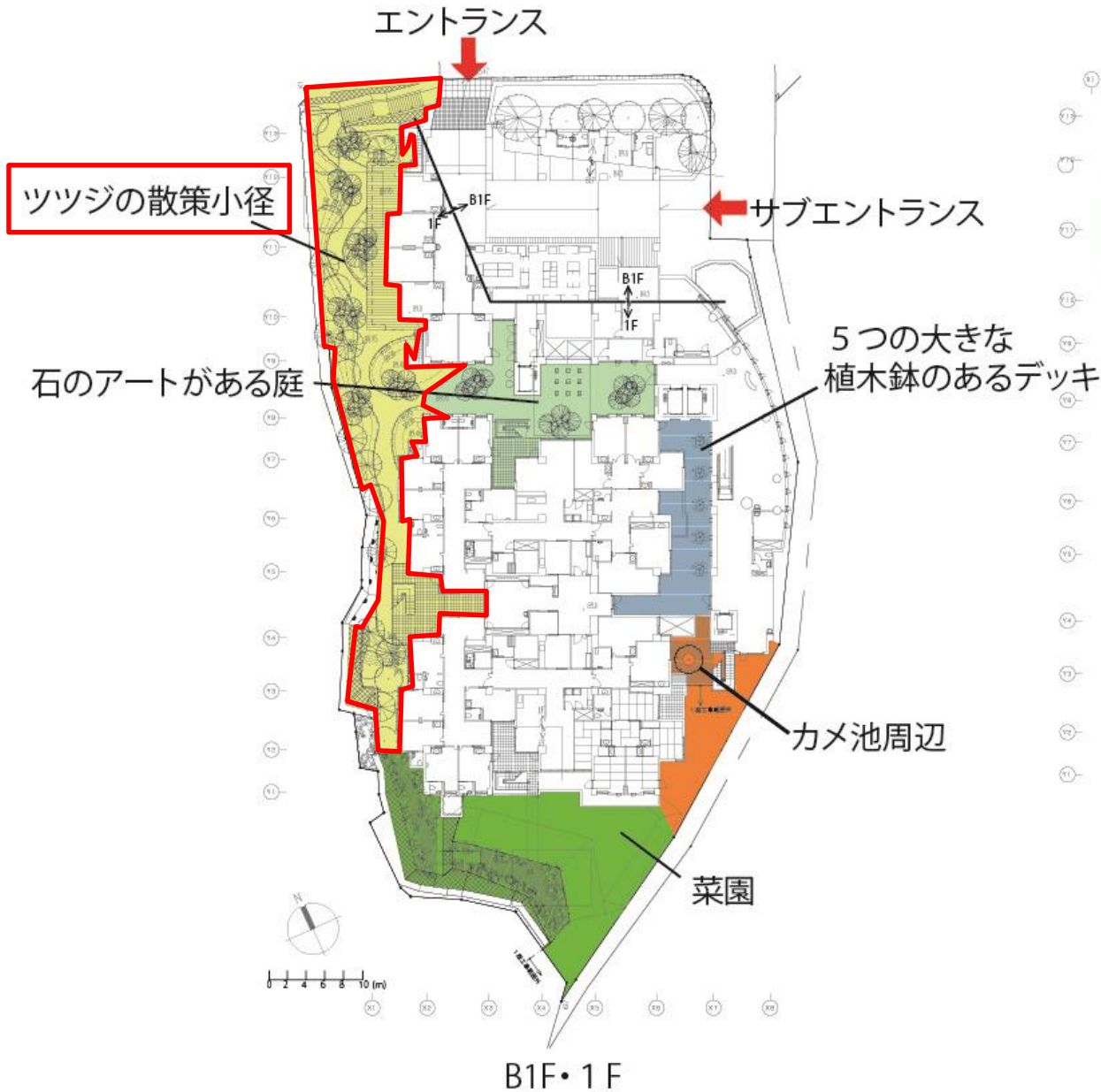
エントランス



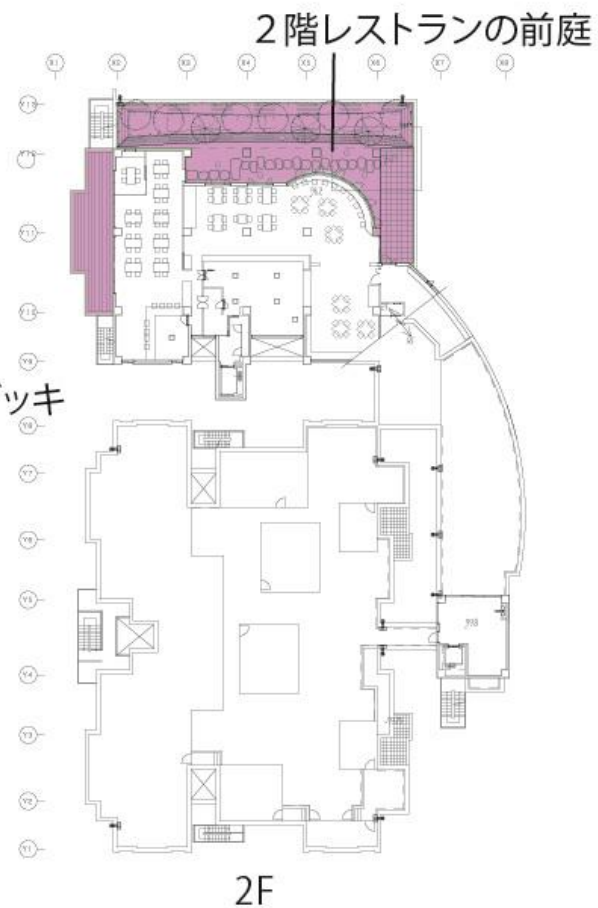
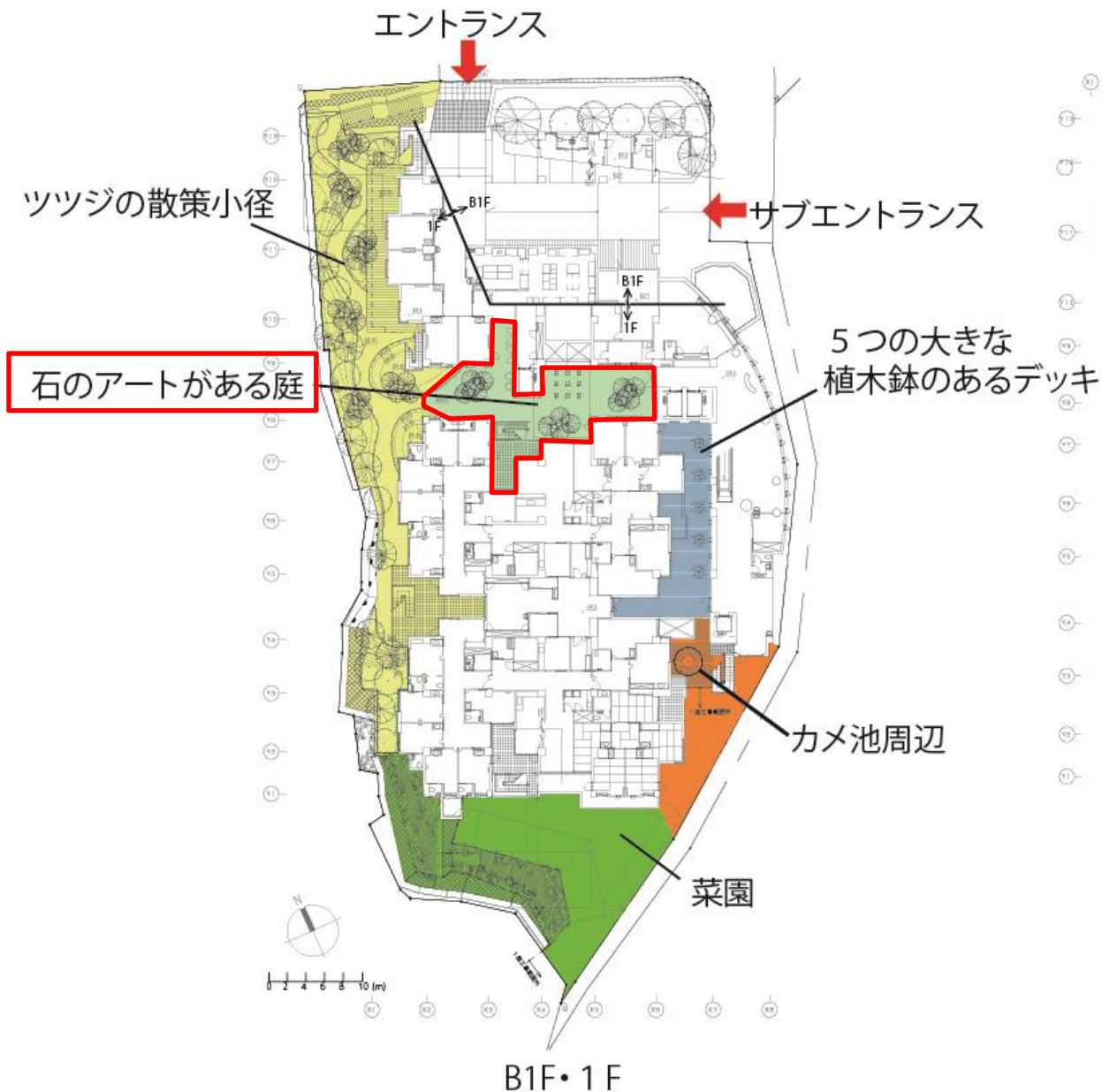
2階レストランの前庭



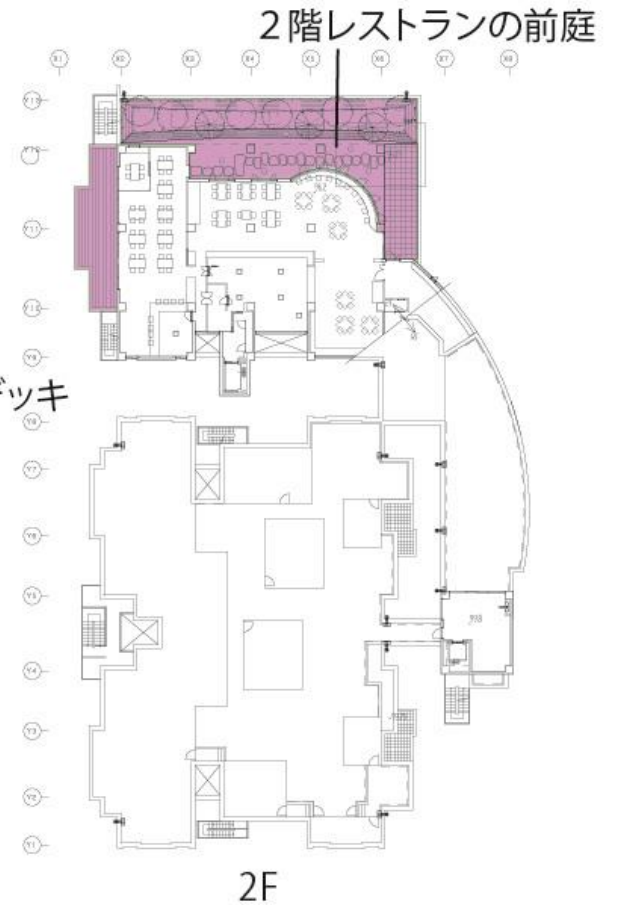
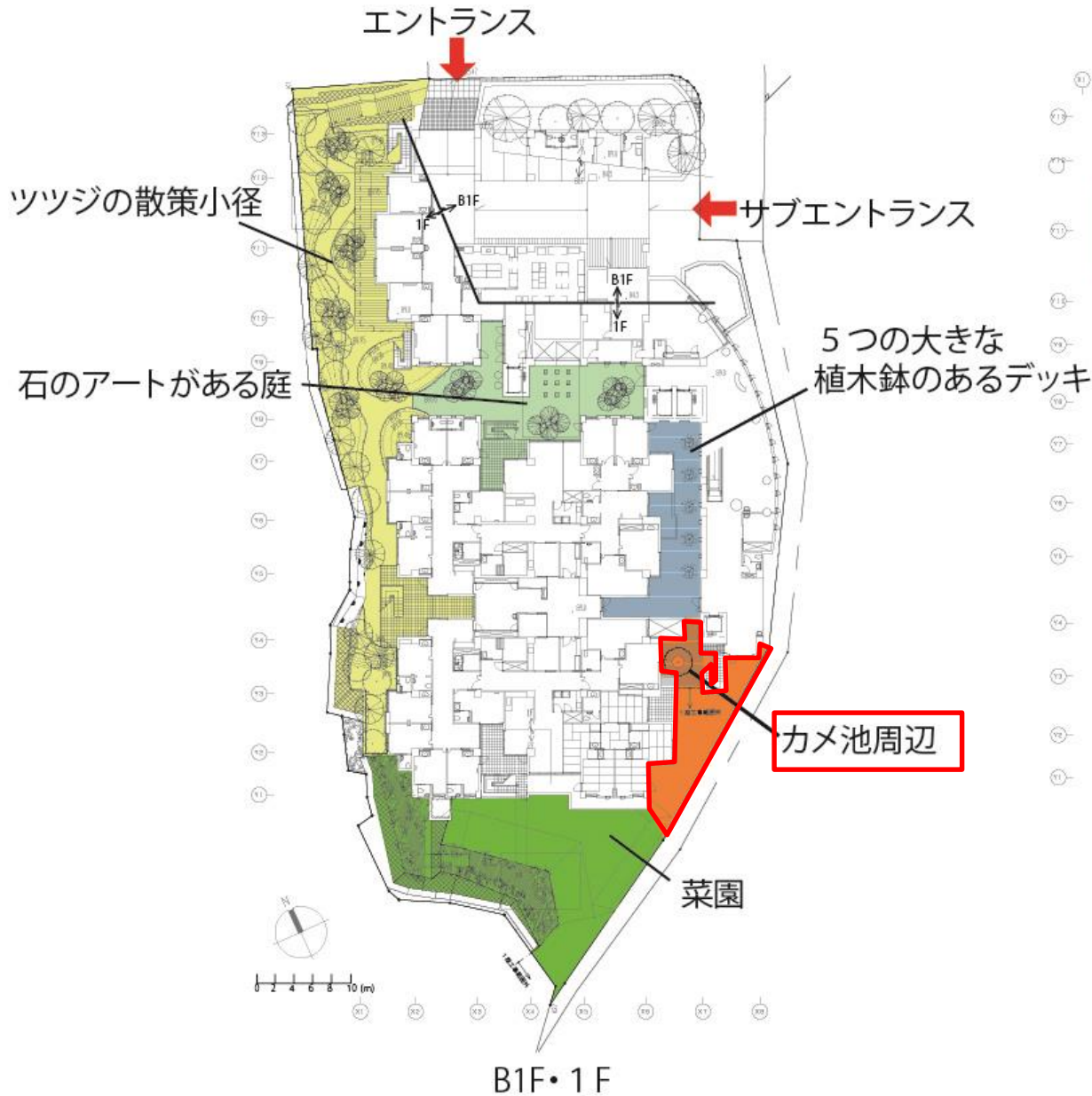
院内における屋外緑化空間の位置図



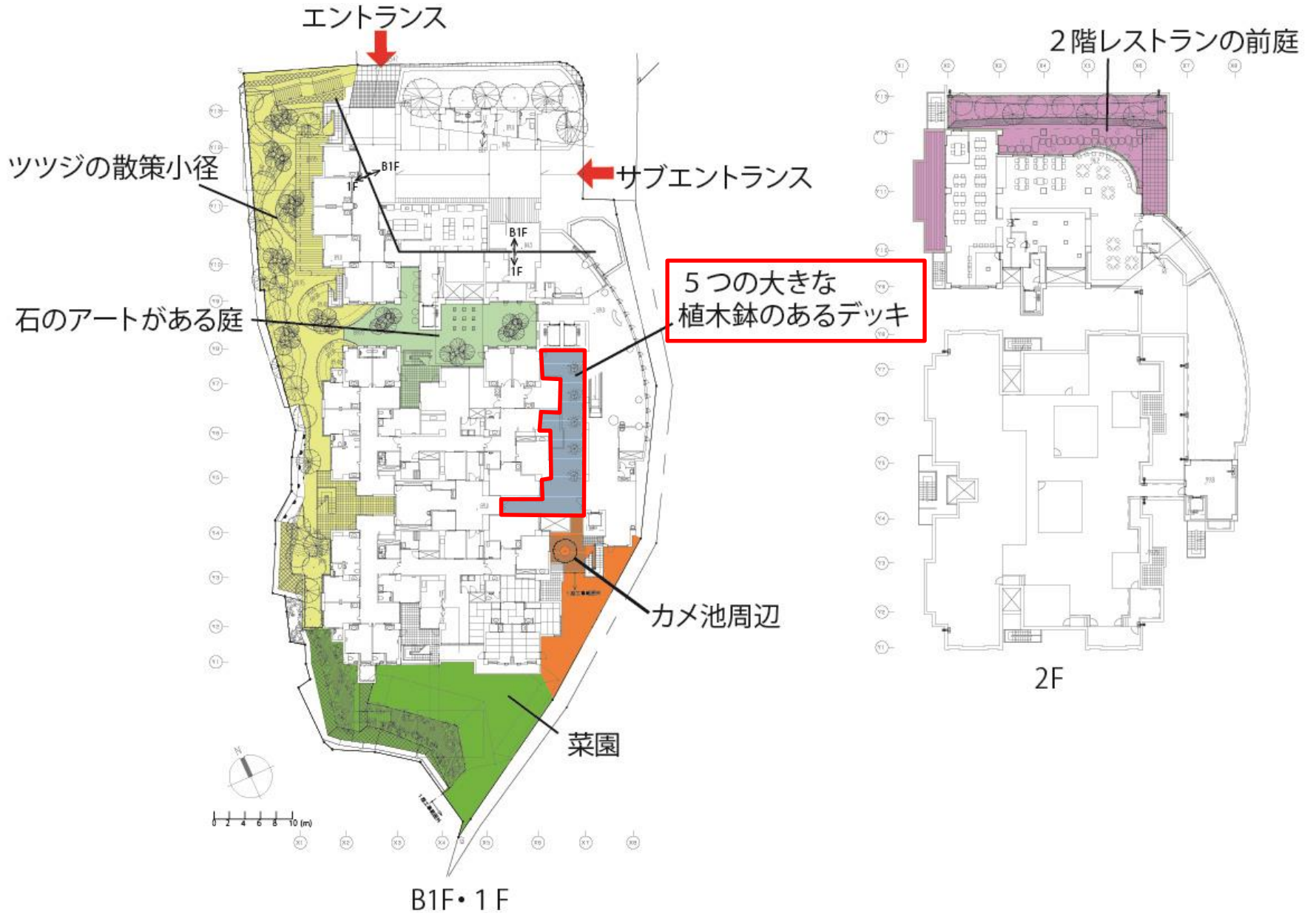
院内における屋外緑化空間の位置図



院内における屋外緑化空間の位置図



院内における屋外緑化空間の位置図

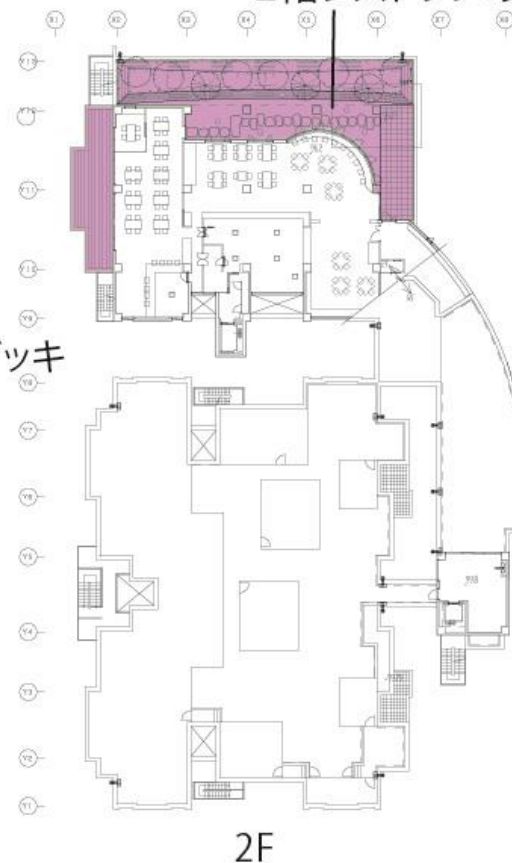


院内における屋外緑化空間の位置図

エントランス



2階レストランの前庭



院内における屋外緑化空間の位置図

エントランス

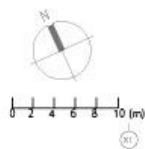
ツツジの散策小径

石のアートがある庭

5つの大きな
植木鉢のあるデッキ

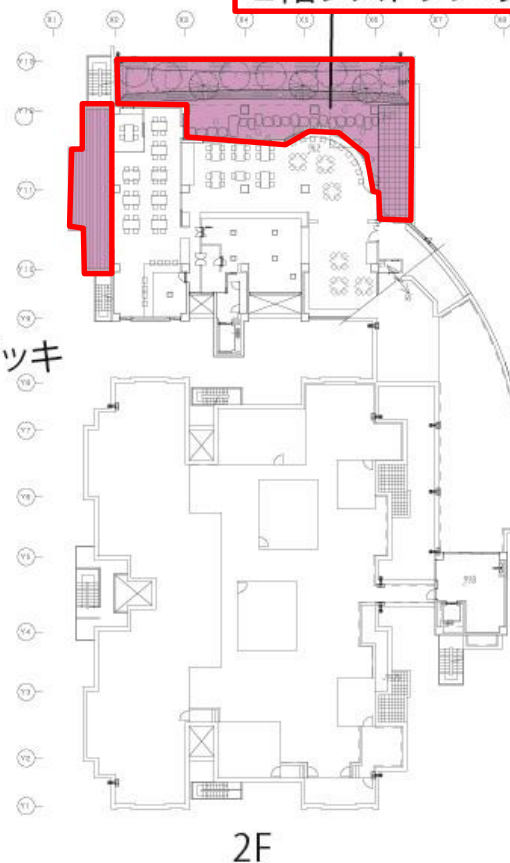
カメ池周辺

菜園



B1F・1F

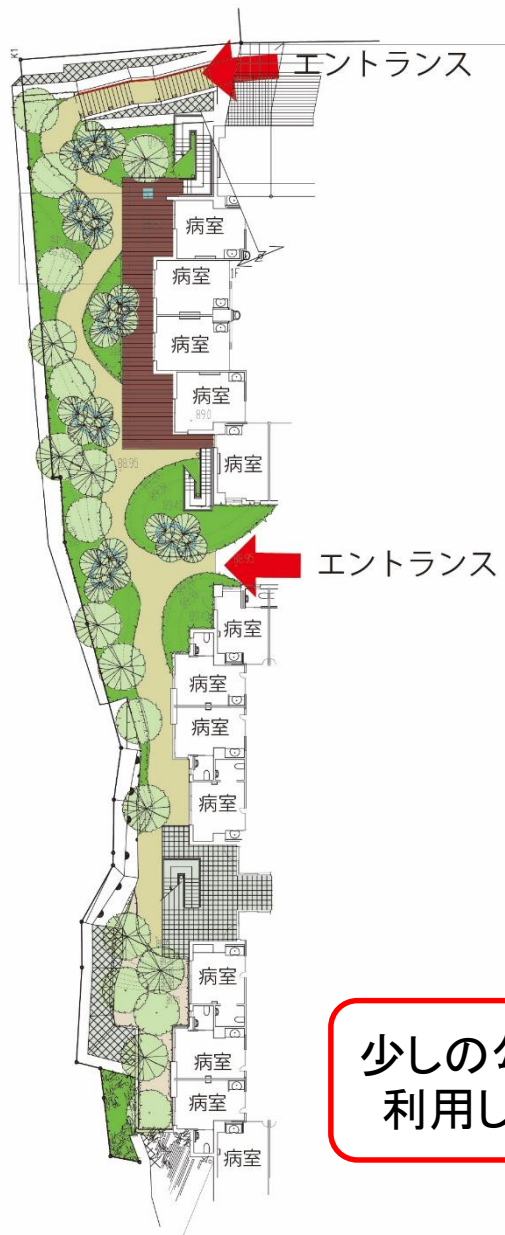
2階レストランの前庭



2F

第2章 医療施設における屋外緑化空間の空間特性

◆ツツジの散策小径の空間特性



ツツジの散策小径

軽く腰かけて休憩する
少しの勾配や蛇行を利用した歩行訓練



狭い通路での人と人の行き交い
↓
談話生まれる

軽く腰掛けられる
高さ600mmのベンチ

少しの勾配や蛇行を利用した歩行訓練

植栽の四季の変化が楽しめる

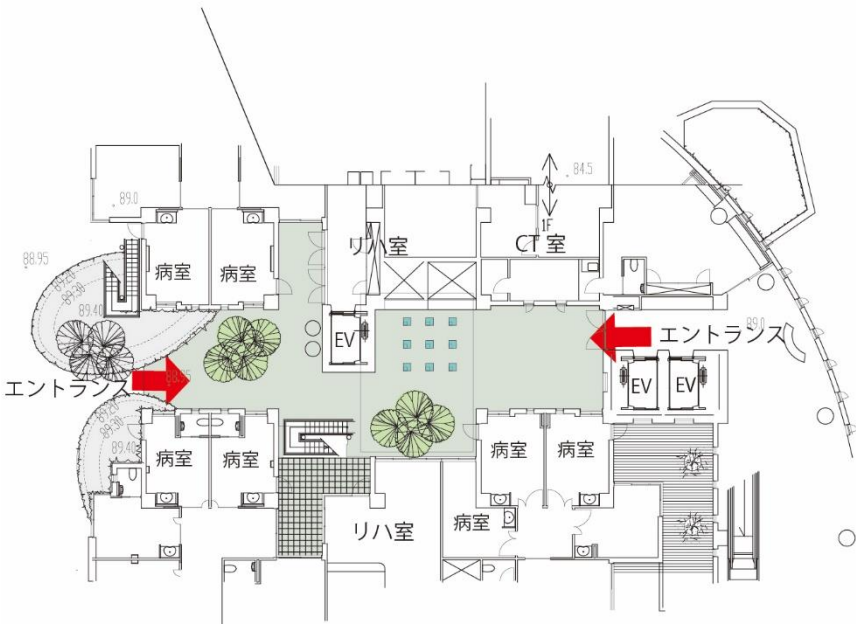
砂を踏みしめる感触

勾配、蛇行を歩行訓練に利用
歩行ルートを選択
ロングコース、ショートコース

資料提供: 株式会社E-Design

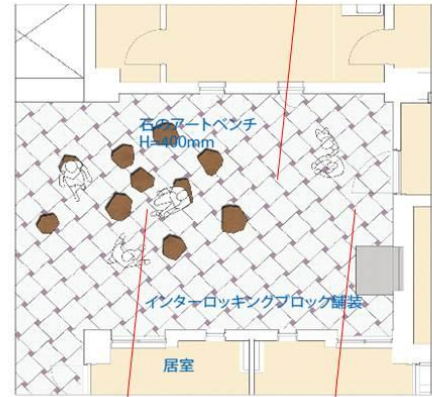
第2章 医療施設における屋外緑化空間の空間特性

2 石のアートがある庭の空間特性



石のアートがある庭

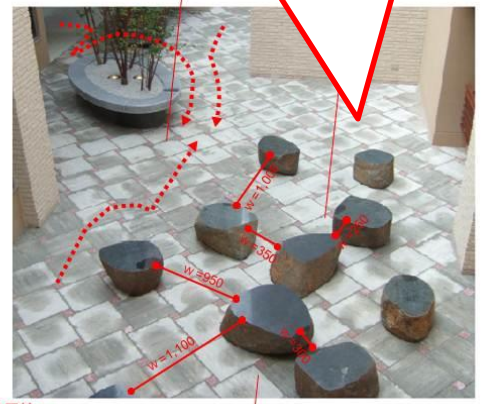
点在するベンチが休憩場所となる
↓
点在するベンチをつなぐルートが
歩行訓練のルートになる
↓
様々な歩行ルートが生まれる



施設入居者の
待合わせの空間
↓
待合わせ
ポイントとする
ひと休み

E Vホールから屋外へ
出たくなる行為を誘発する中庭

広さ250~1,100mm
の間隔で配置された
石のアートベンチ



各階E Vホールからの
アイキャッチ

資料提供: 株式会社E-Design



第2章 医療施設における屋外緑化空間の空間特性

◆カメ池周辺の空間特性



◆2階レストランの前庭の空間特性



◆菜園の空間特性



◆5つの大きな植木鉢のあるデッキの空間特性



【ヒアリング調査(病院経営者・設計者・理学療法士・園芸療法士:各1名)】

◆病院経営者の屋外緑化空間の設置目的とその評価

(1)屋外緑化空間の設置目的

・リハビリテーションの場として

退院後に屋内だけでなく、屋外での環境にも適応できるようにする為に設置した

・病院のイメージの向上

・癒しの効果の場として

(2)屋外緑化空間の設置目的の達成度

・リハビリテーションの場として

リハビリの一環では使用できているが、患者自らのリハビリの練習での使用はあまりできていない

・病院のイメージの向上

達成できていると思う

・癒しの効果

患者は生死を彷徨う経験をした後なので、自分から庭でリラックスをしようと思う余裕がないので今後は、その点についても考えなければならない

(3)今後の施設整備に向けて

病棟内で過ごしがちな患者が日常生活の延長として屋外緑化空間を利用できるような工夫が重要である

◆設計者の屋外緑化空間の設計理念とその評価

(1)施主の依頼内容

- ・人それぞれのリハビリプログラムの体現

人それぞれが興味を持てる場所であったり人それぞれのリハビリを提供できる空間にしてほしい

(2)施設全体のコンセプト

- ・アウトドアリビングガーデン

眺められる環境だけでなく、関わっていくことのできる環境

(3)設計にあたって重視した点

- ・季節の移ろい

1年間で四季折々の印象的な風景が現れることをベースにデザインすること

- ・自然の地形を読みこなし、説明をしなくても理解できる空間づくり

誰もその空間を使いこなす人が居ないときに次の工夫ができるように、行為とは全く関係ない空間をつくった

◆医療行為を行う際の利用実態とその評価

◎理学療法士

(1)リハビリプログラムの内容

- ・歩行訓練(小石があるような環境の悪い所を歩く)
- ・立位での訓練(手先を動かす動作をあえて立位で行う)

(2)人数構成・よく行う時間帯

- ・基本は1対1だが、園芸療法士の所に行って一緒に行くこともある
- ・時間は特に決まっていない

(3)よく利用するゾーン

- ・土の感触を味わってもらいたい時は、菜園に行くなど用途によって場所を使い分けている

(4)屋外緑化空間を利用する際の利点

- ・景色が変わるので患者の気分転換や行動に対する意欲に繋がる

(5)屋外緑化空間を利用する際の問題点

- ・屋内と比較すると転倒等のリスクが高まるが、その手助けを行う人手が足りない
- ・気候に左右されやすく、梅雨の時期はなかなか外に出られない

◆医療行為を行う際の利用実態とその評価

◎園芸療法士

(1)リハビリプログラムの内容
・園芸活動
・クラフト活動(クリスマスのリース作りなど)
(2)人数構成・よく行う時間帯
・基本的には1対1だがイベントの際などは集団で行うこともある
・時間は特に決まっていない
(3)よく利用するゾーン
・カメ池周辺、菜園
(4)屋外緑化空間を利用する際の利点
・患者のリラックス効果
・落ち葉などがあるので、リハビリとして掃き掃除を行う場となっている
(5)屋外緑化空間を利用する際の問題点
・人とコミュニケーションがとれる大きな机などの作業スペースがない
・花壇が少なく鉢ばかりが多くなるので見栄えが悪くなる

第3章 医療施設における屋外緑化空間の効果と利用特性及び評価

◆調査方法(アンケート調査)

- ・調査期間:2012年10月31日～11月14日
- ・調査対象:医療スタッフ(208名)
- ・配布方法:直接配布方式
- ・回収方法:直接回収方式
- ・有効回答数:91票
- ・回収率:43.8%

◆調査項目

- ・回答者の属性
- ・屋外緑化空間の利用実態
- ・屋外緑化空間に対する効果
- ・屋外緑化空間に対する評価

◆回答者の内訳

医療スタッフの職種		人数(人)	割合(%)
理学療法士		39	42.9
作業療法士		18	19.8
その他 医療スタッフ	看護師	16	17.6
	介護福祉士	8	8.8
	管理栄養士	2	2.2
	言語聴覚士	4	4.4
	ソーシャルワーカー	1	1.1
	小計	31	34.1
無回答		3	3.3
合計		91	100.0

第3章 医療施設における屋外緑化空間の効果と利用特性及び評価

◆調査方法(アンケート調査)

- ・調査期間:2012年10月31日～11月14日
- ・調査対象:医療スタッフ(208名)
- ・配布方法:直接配布方式
- ・回収方法:直接回収方式
- ・有効回答数:91票
- ・回収率:43.8%

◆調査項目

- ・回答者の属性
- ・屋外緑化空間の利用実態
- ・屋外緑化空間に対する効果
- ・屋外緑化空間に対する評価

◆回答者の内訳

医療スタッフの職種		人数(人)	割合(%)
理学療法士		39	42.9
作業療法士		18	19.8
その他 医療スタッフ	看護師	16	17.6
	介護福祉士	8	8.8
	管理栄養士	2	2.2
	言語聴覚士	4	4.4
	ソーシャルワーカー	1	1.1
	小計	31	34.1
無回答		3	3.3
合計		91	100.0

第3章 医療施設における屋外緑化空間の効果と利用特性及び評価

◆調査方法(アンケート調査)

- ・調査期間:2012年10月31日～11月14日
- ・調査対象:医療スタッフ(208名)
- ・配布方法:直接配布方式
- ・回収方法:直接回収方式
- ・有効回答数:91票
- ・回収率:43.8%

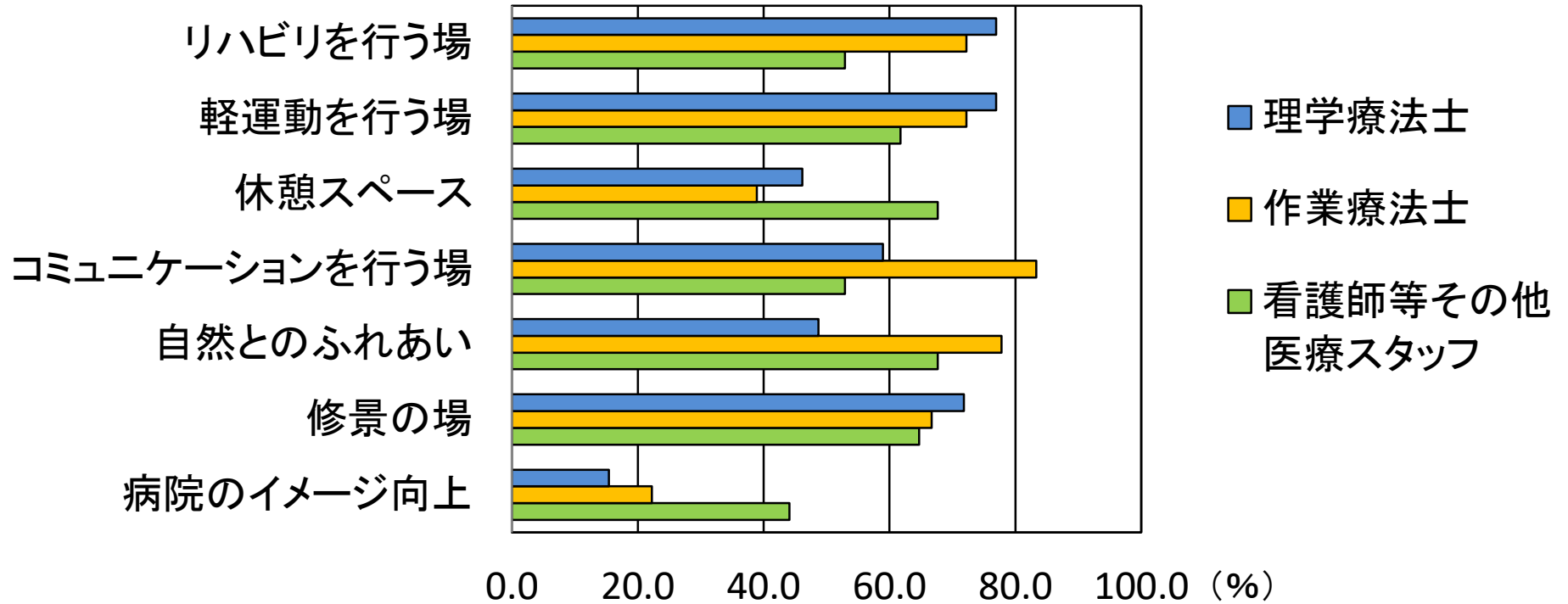
◆調査項目

- ・回答者の属性
- ・屋外緑化空間の利用実態
- ・屋外緑化空間に対する効果
- ・屋外緑化空間に対する評価

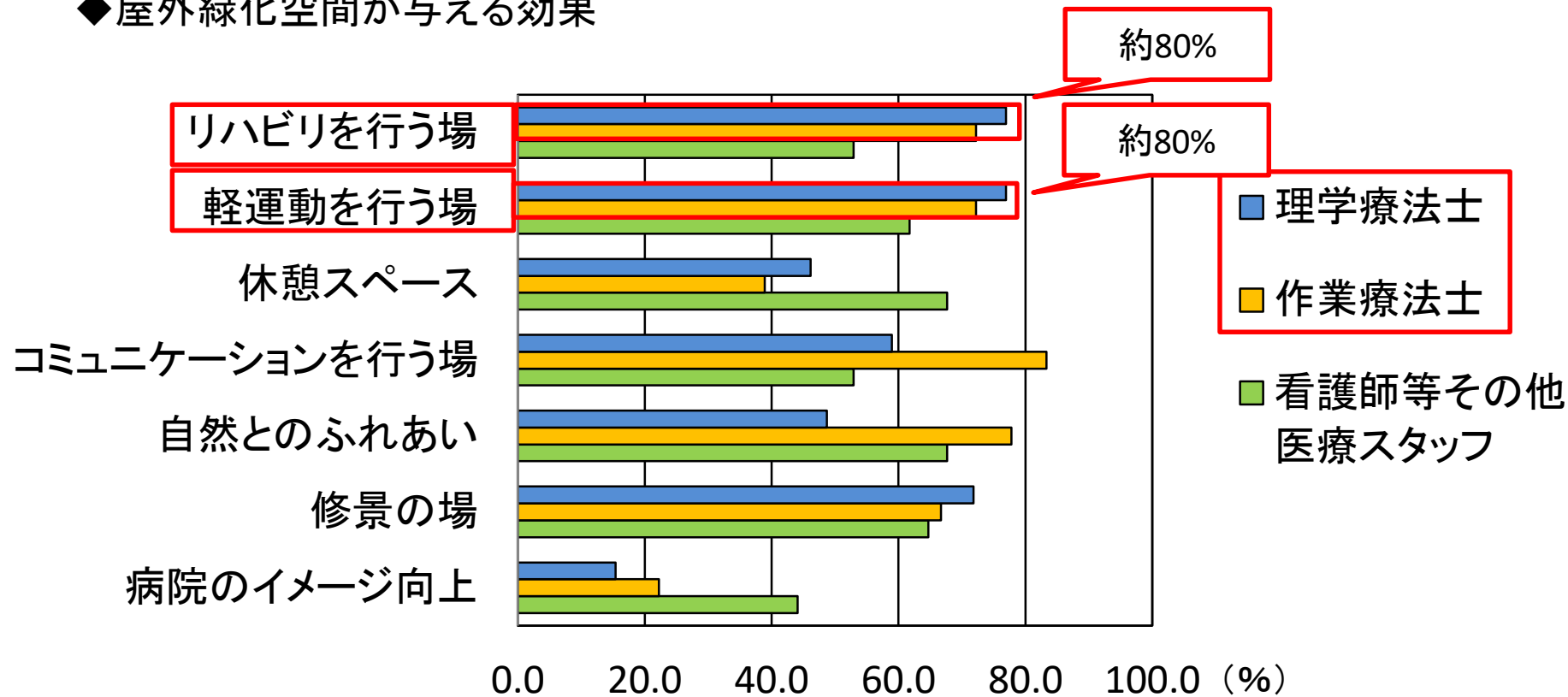
◆回答者の内訳

医療スタッフの職種		人数(人)	割合(%)
理学療法士		39	42.9
作業療法士		18	19.8
その他 医療スタッフ	看護師	16	17.6
	介護福祉士	8	8.8
	管理栄養士	2	2.2
	言語聴覚士	4	4.4
	ソーシャルワーカー	1	1.1
	小計	31	34.1
無回答		3	3.3
合計		91	100.0

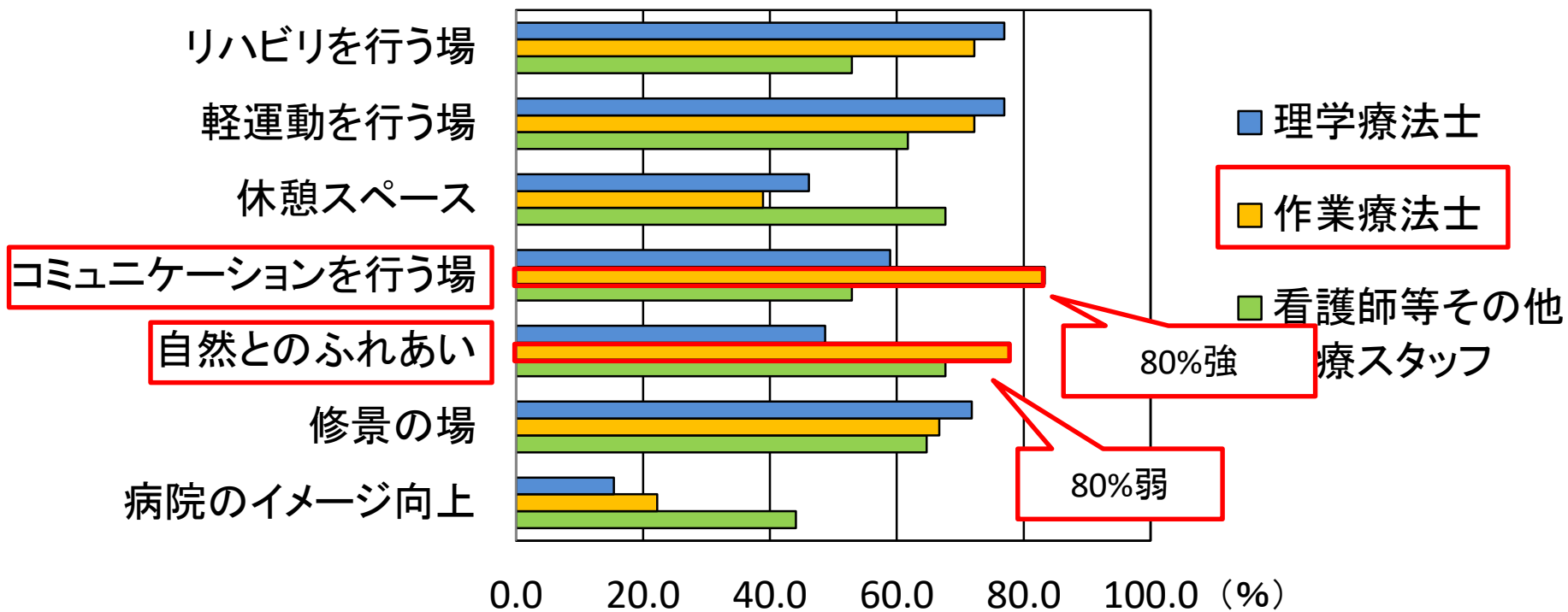
◆屋外緑化空間が与える効果



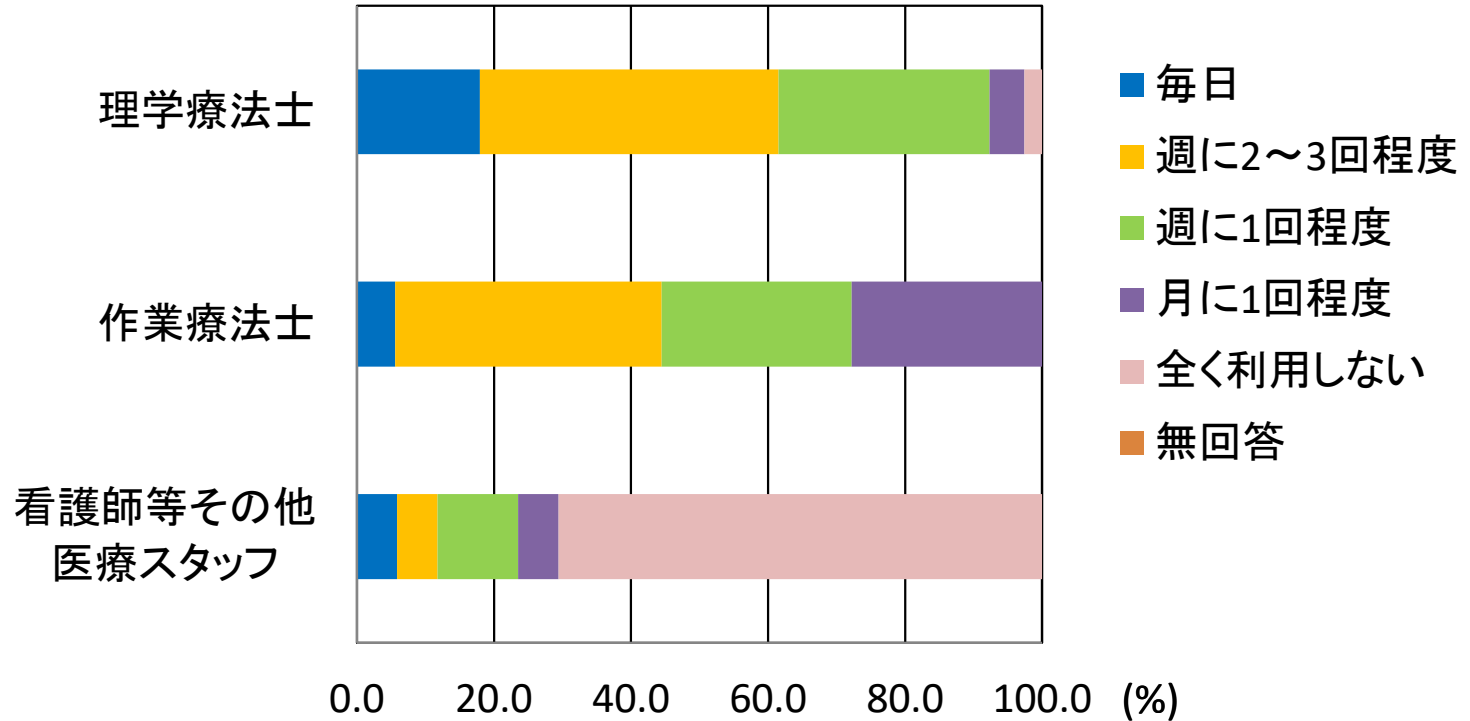
◆屋外緑化空間が与える効果



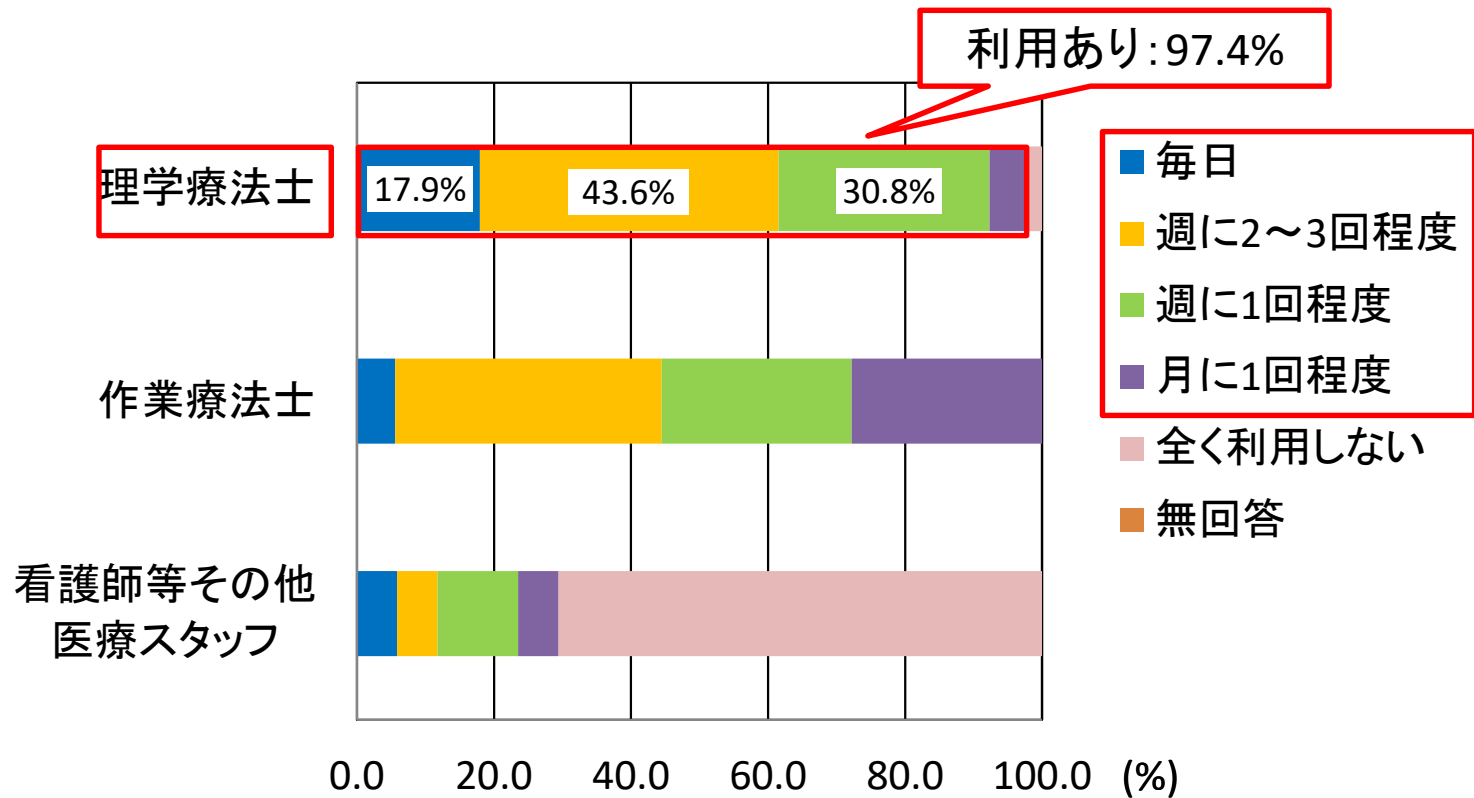
◆屋外緑化空間が与える効果



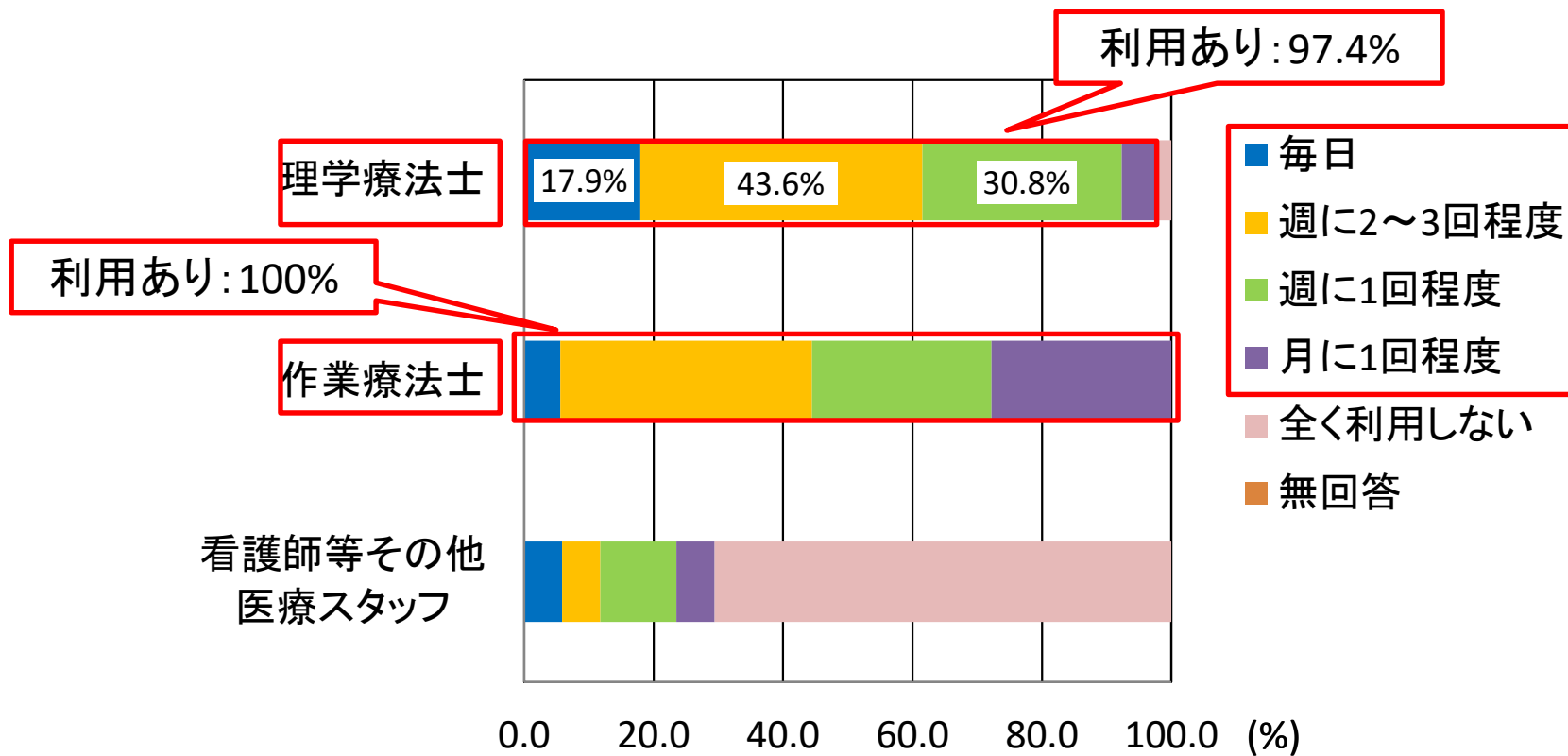
◆屋外緑化空間における利用特性



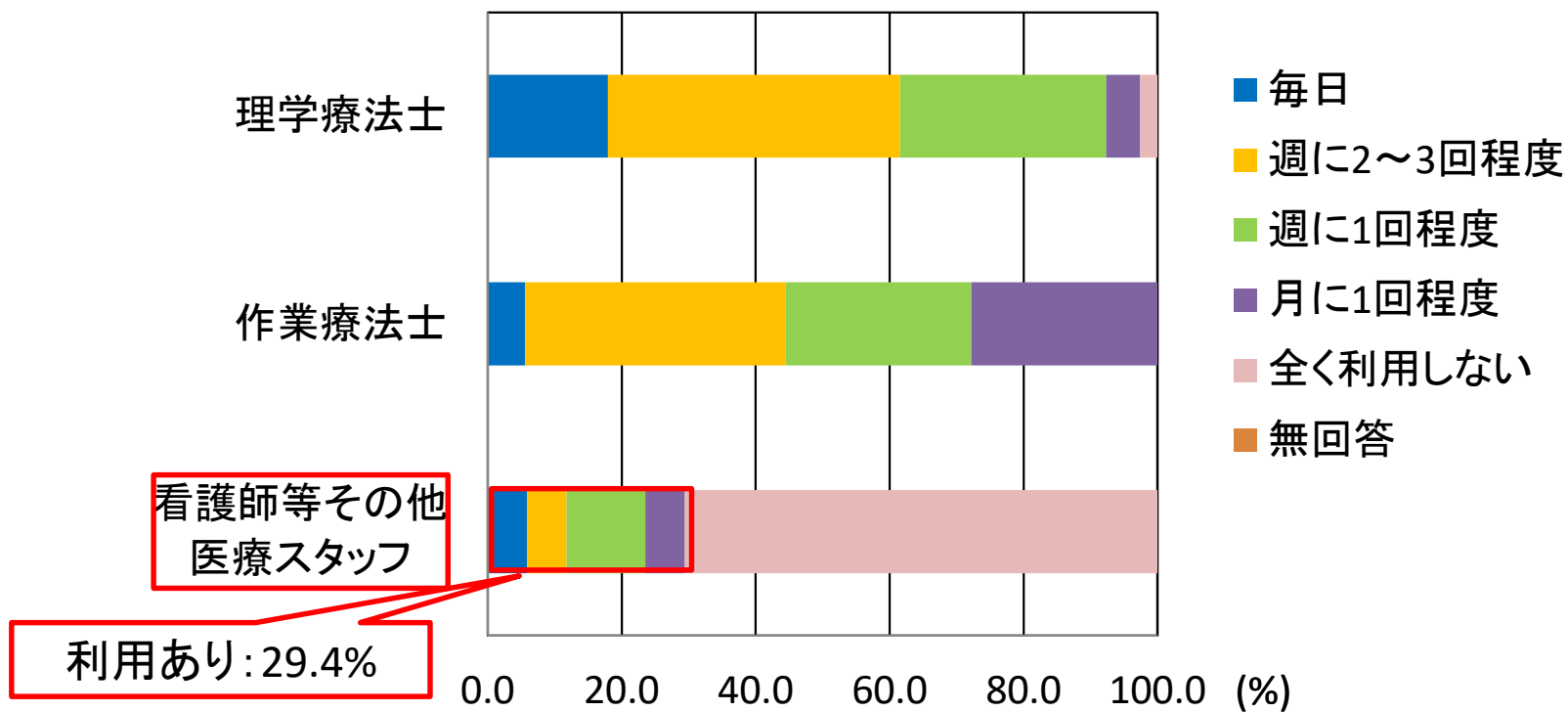
◆屋外緑化空間における利用特性



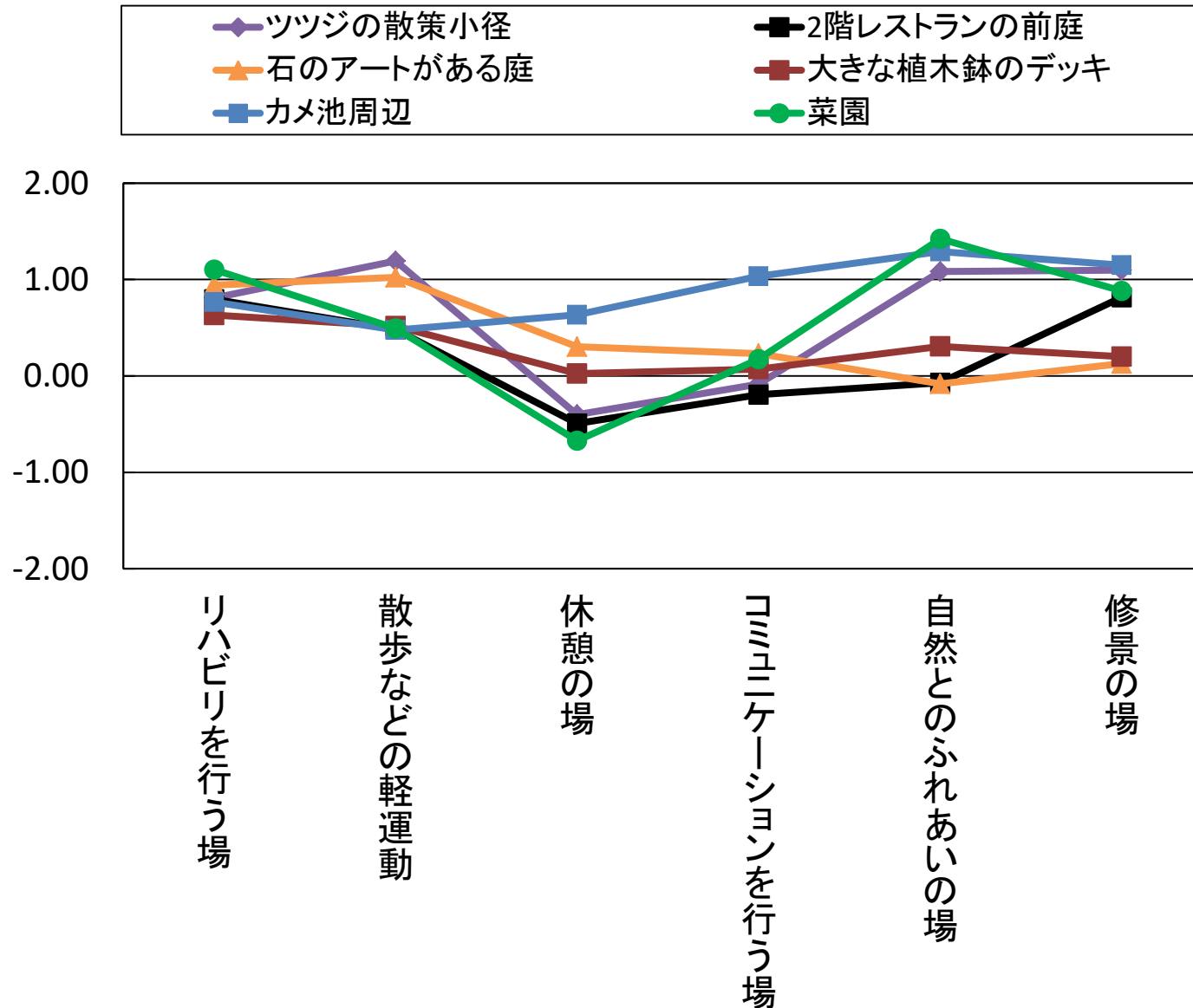
◆屋外緑化空間における利用特性



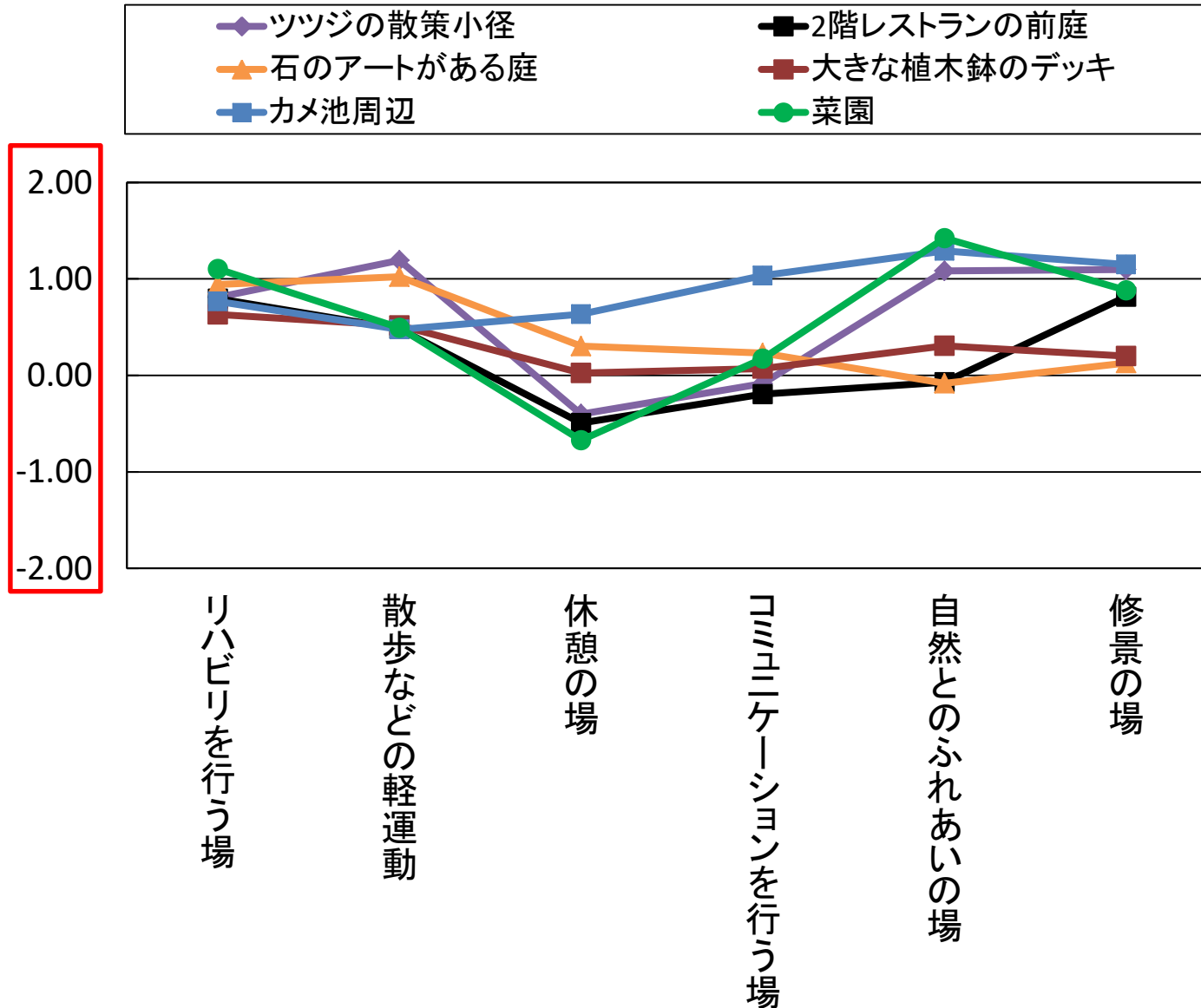
◆屋外緑化空間における利用特性



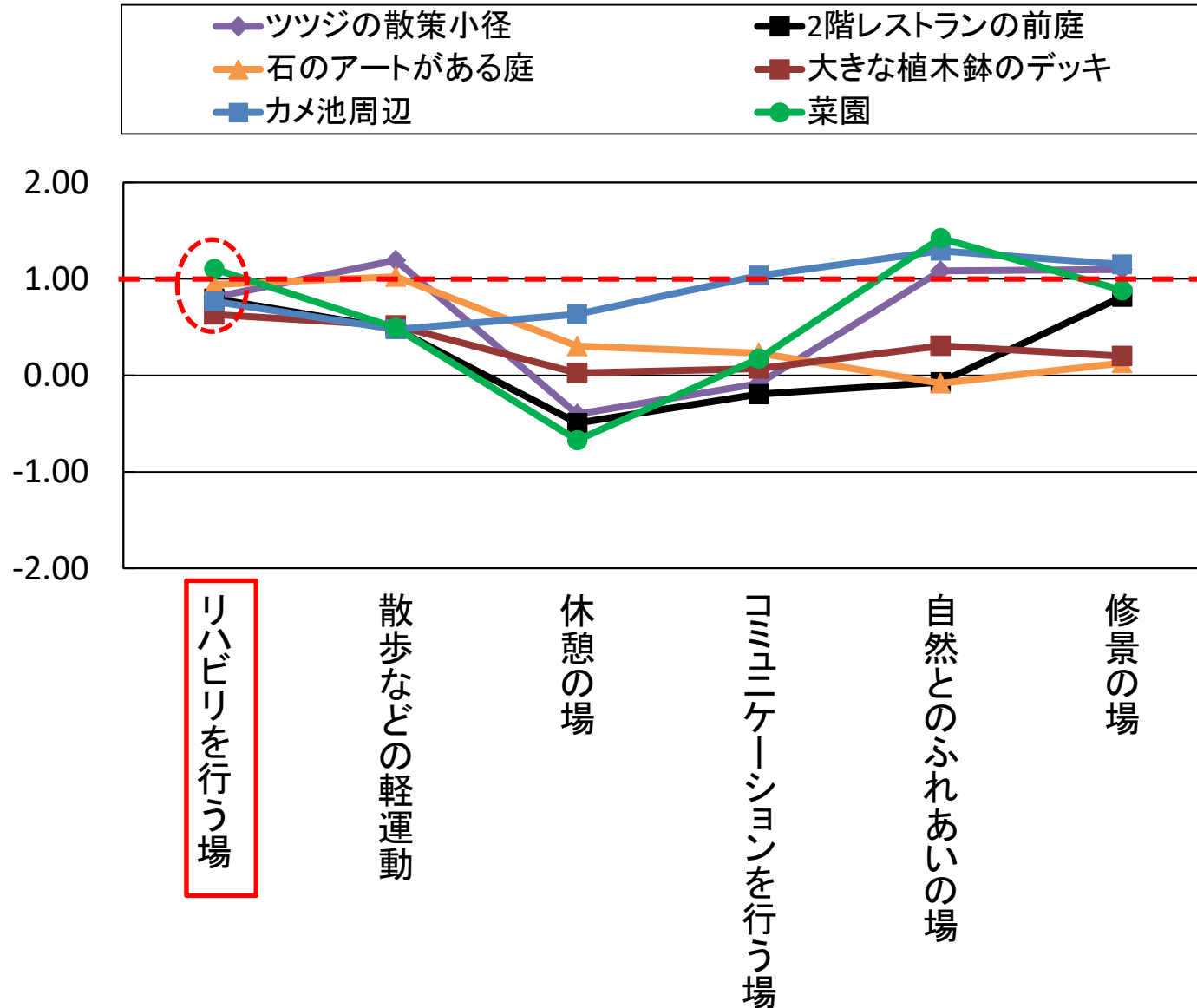
◆屋外緑化空間に対する評価



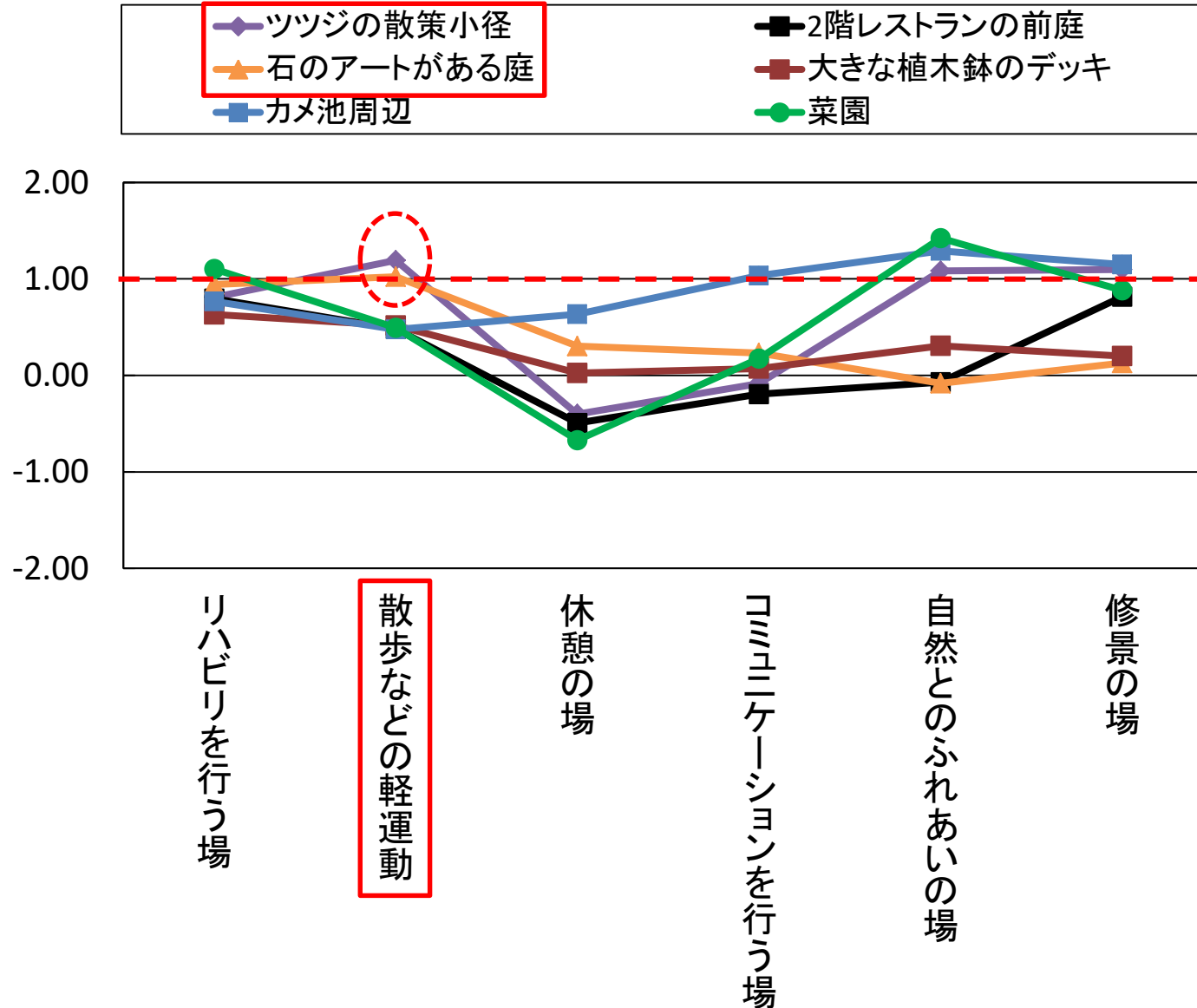
◆屋外緑化空間に対する評価



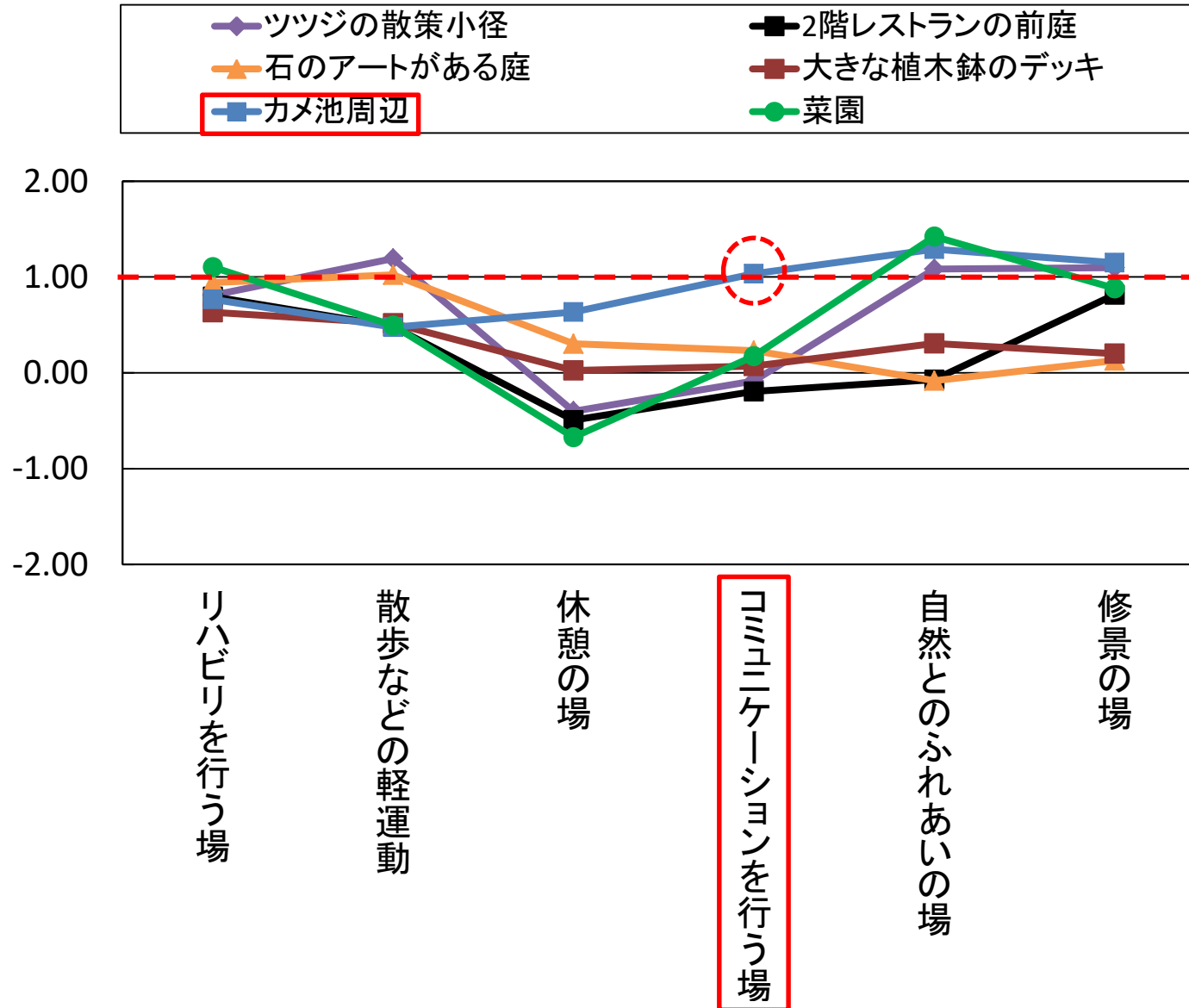
◆屋外緑化空間に対する評価



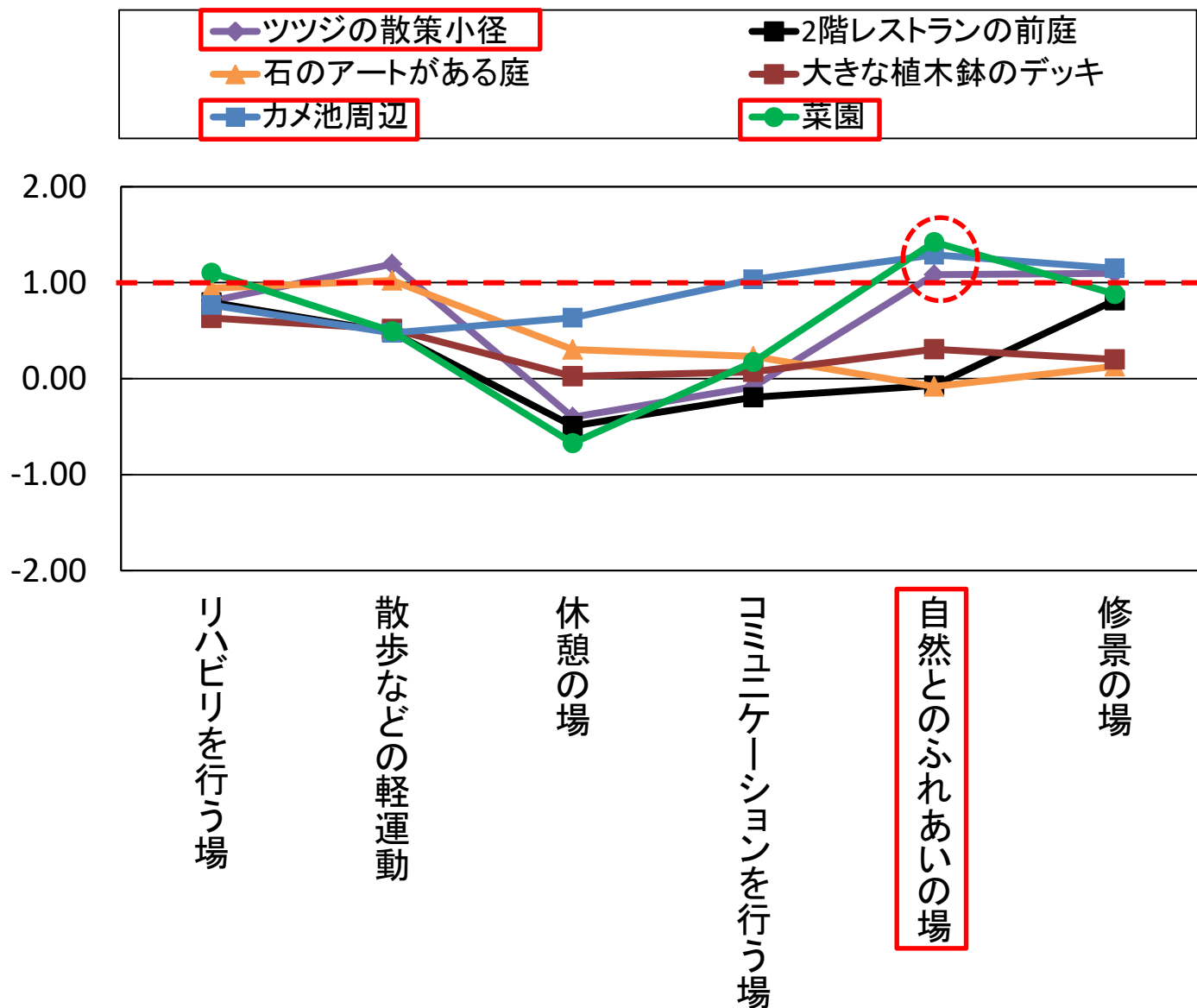
◆屋外緑化空間に対する評価



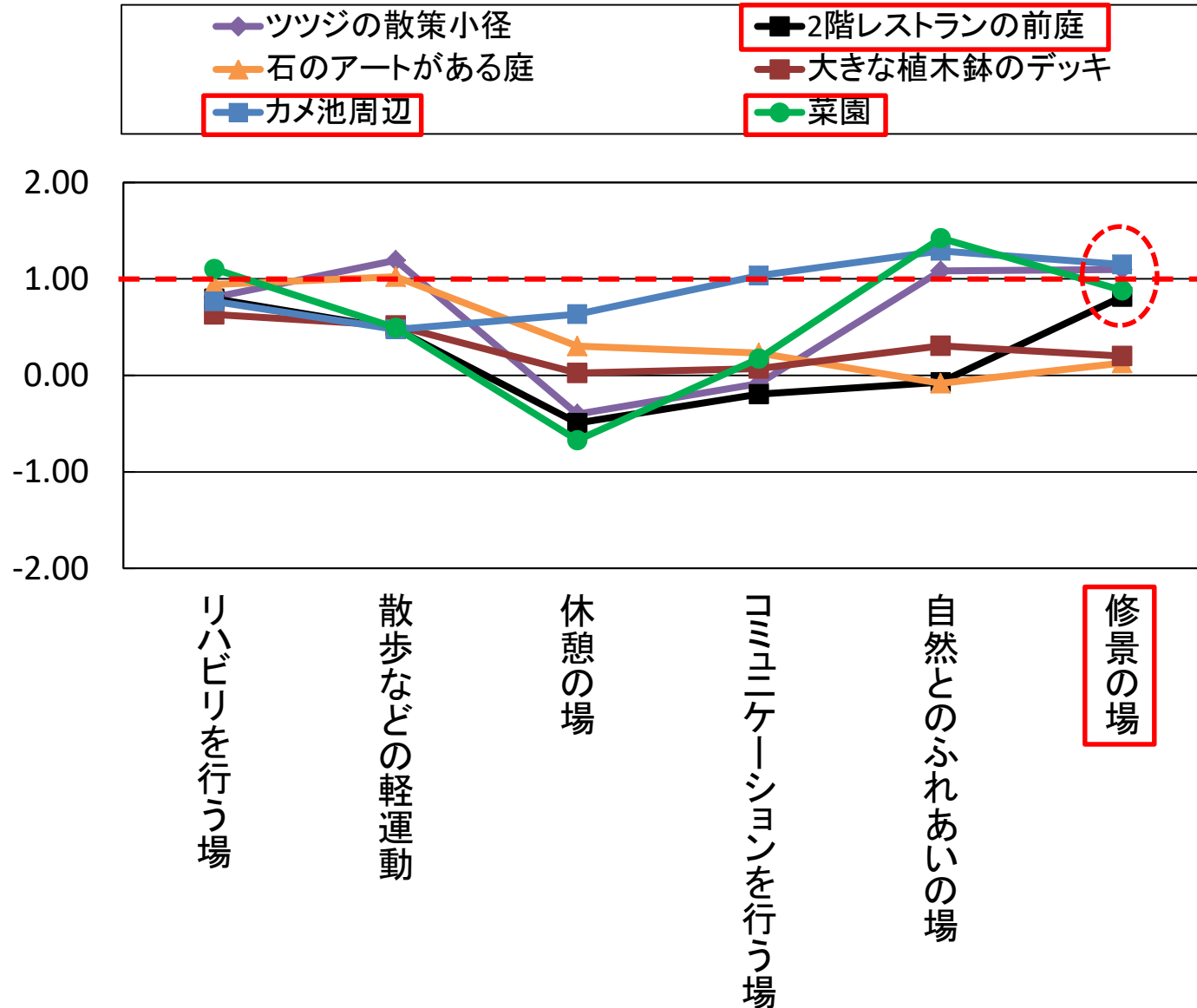
◆屋外緑化空間に対する評価



◆屋外緑化空間に対する評価



◆屋外緑化空間に対する評価



医療施設における屋外緑化空間の果たす役割

◆医療施設における屋外緑化空間は、リハビリの場、散歩や軽運動の場、患者や医療スタッフのコミュニケーションの場とともに、自然とのふれあい、病院のイメージの向上に寄与するなど修景としての役割を果たしていることが明らかとなった。

◆屋外でのリハビリは、患者のリラックス効果やリハビリ意識の向上に寄与する役割を果たす可能性も保有していることが明らかとなった。



医療施設における屋外緑化空間の役割は、退院後の患者が、屋外での生活にも速やかに適応できるようにすることであり、屋外緑化空間の場所毎に特定の機能を付与し、退院後の日常生活の再現性に配慮することが求められる。